

たいない

議会だより

No.56

平成30年8月10日

(2018年)

【題字】鈴木 愛理さん

竹島在住の山田さんファミリー 左側 葵生(あおい)さん 中3
中央 歩実(あゆみ)さん 小1
右側 栞里(しおり)さん 中1



意見交換会

一般質問 (10人)

平成30年 第2回定例会議決結果

常任委員会審査

行政視察報告

閉会中所管事務調査報告

会派視察報告

平成29年度 政務活動費収支結果報告

2～3ページ

4～13ページ

14ページ

14～15ページ

16ページ

17ページ

18ページ

19ページ

意見交換会を開催！



【市民と議会の意見交換会】

市議会では、平成30年6月1日・2日の両日、市内4会場において、市民との意見交換会を開催いたしました。2日間で32名にご参加いただき、各会場では、第1回定例会の審議内容など報告を行った後、市民が日頃感じている地域の課題等について意見交換を行いました。

参加者からいただいた貴重なご意見は、市執行部とも情報共有を図るとともに、今後の議会活動に活かしてまいります。

なお、主な意見等を次ページに掲載しましたが、全ての内容は市ホームページに掲載しています。

◇会場別参加者数

産業文化会館	黒川支所	築地農村環境改善センター	きのと交流館	合計
9人	3人	4人	16人	32人

意見交換会に参加した方の感想など（アンケートの主なもの）

- ・もっと幅広い年代に参加してもらえるように告知の方法を工夫して欲しい。
- ・質問や回答など、他の会場のものとあわせて議会だより等に載せて欲しい。
- ・区長さんにも参加いただきたい。
- ・少なくとも、予算・決算後の2回は、意見交換会を開催して欲しい。
- ・事前に質問や要望事項を受け付ける方式にして欲しい。

開かれた議会を目指して

議会と市民との

市民との意見交換会（主なもの）

項目	意見交換会の内容
観光関連	質問：チューリップフェスティバルの情報発信をもっとして欲しい。以前は、チューリップのプランターを設置して盛上げていたように積極的にPRをして欲しい。
	質問：胎内リゾートエリアには、さまざまな施設があるが、今後の方針が見えてこない。特にフラワーパークは300円の入場料がかかるが、それだけの価値があるか疑問である。
	質問：スキー場について、余った土地で木材の栽培、バイオマス、トレッキングコースなど有効利用ができないか。
	質問：樽ヶ橋遊園は、オウムが亡くなり、集客できるメインキャラクターがない。オウムは30～50万円位だが、30年は生きる。市民が募金を集め、オウムを飼うことを検討できないか。また、園の飼養担当職員が2人しかいない。土日出勤し、平日に振替休日をとると、1人の場合が多く園内整備が間に合っていない。
議会関連	質問：どこかの県議会議長や市議会のように、政務活動費の領収書を改ざんするなど、不正が行われているが、胎内市議会は大丈夫なのか。領収書をネットで公開できないか。胎内市では、どのようにチェックしているのか。
	質問：次の改選後から、議員報酬が上がる議決がなされているが、一般市民は安い給料で生活しているのに議員だけが報酬を上げて良いのか。
	質問：議会の録画配信まで1か月ぐらいかかっている。もっと早く見られるようにすべきでは。
	質問：議員の回答が上から目線で説得しているように感じる。意見交換自体、年々参加者が少なくなっている。やり方を考えるべきではないか。
保育園・学校関連	質問：男女共同参画推進法について、議会として議論がなされているのか。
	質問：スクールバスに乗れる基準は、自宅から学校までの距離計算になっているが、先日の新潟市西区で事件があったように、児童が一人になる時間の長さも児童の安全に関係している。距離にこだわらず児童が一人になる時間も考慮すべきである。
	意見：小・中学校のスポーツ少年団、部活の送迎で苦勞している。
	意見：小・中学校の給食の時に、ハエがいて困っている。
地域の課題	質問：樽ヶ橋遊園は子どもだけで遊びに行けず、地元の公園で遊ぶしかない。塩沢集落は遊具を撤去、近江新は平成32年に修理の計画があるようだが、当集落（下江端）は遊具点検で使用不可と診断された。順次、遊具の修繕を進めてもらいたい。
	意見：畜産業者の臭気が非常にひどく、近くで畑仕事をしていても具合が悪くなるほどである。近くには、新潟県少年自然の家もあり、子ども達にも悪影響を及ぼすのではないかと。何とか改善していただけないか。
	質問：高校生の送り迎えの際、平木田駅の駐車場が非常に混雑するが、駐車場をもっと広くできないか。
	意見：洋上風力は、やめたほうが良いと思う。
その他	意見：集落の公園及び遊具について、本当に必要なのか市民協働で共に考えてはどうか。
	質問：予算の関係で基金を取り崩すなど、市の財政状況が心配である。
	質問：市の施設や集落へ誘導する案内看板を分かりやすくして欲しい。
	質問：地域おこし協力隊について、今後、中条地区などにも広げられないか。集落単位でなくても、受け入れる態勢をとれないか。
	質問：要介護状態になった場合、国民年金だけで生活している人は、一般の介護施設には高くして入所が困難なため、低料金で利用できる施設を増設してほしい。
	質問：介護保険料がだんだん高くなってきているが、今後もまだ上がるのか。
	質問：公共下水道事業の運営は大丈夫なのか。
	意見：スポーツクラブもない年会費4,000円は、高すぎる。健康な老人を増やすことは、医療費の抑制にもつながる。市から少しでも補助できないか。
	意見：「事業仕分け」について、一般質問があったが非常に良い試みなので是非行ってほしい。
	意見：甘草に限らず新しい事業の報告がされていない気がする。事業経過についても逐次知らせしてほしい。
意見：投票所までの移動手段が無いと、選挙に行けない人が一定数いる。そのような人の為、送迎サービスを行うべきである。	



天木 義人 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

施政方針について

議員 市民協働の取組に向けて、市職員、市民への講演、研修を行っているが具体的にどの様な事業について市民協働を行うのか。

市長 何を協働して取り組むことが求められているのか、あるいは望ましいのかを話し合う事が座談会やタウンミーティングを開催する目的で有るとご理解願いたい。

議員 胎内市の将来像をどのように考えているのか、また優先課題、主要事業は何か。

市長 当市の豊かな自然や歴史、文化を引き継いでいく、人、物、情報が行き交う活力のあるまちの実現を目指す。

主要課題を上げると、人口減少、



市民協働勉強会

少子高齢化を克服し、持続可能なまちづくりを行っていく。当市だけで解決できるものではなく、国、県により広域的な対策が求められている。

インフラ整備と維持管理について

議員 今年は大雪で消雪パイプの稼働が追いつかない所や故障している所が数カ所見られた。新設を含めメンテナンス、整備計画は。

市長 消雪施設の老朽化や水量低下に伴い水が出ない、出にくいといった状況があり市民には大変ご不便をおかけした。

既設のものについては、メンテナンスを着実にいき、次冬からは、一部地域においては地区と話し合いを持ちながら、消雪パイプから機械除雪へとシフトしたいと考えている。

今後新設については機械除雪が出来ない狭い道や除排雪が出来ない箇所を基本として新設する。

議員 二葉町防災公園協の残り半分の土地の活用方法は。

市長 平成25年に市営住宅を取り壊した際に地域住民と協議を行い、住宅用地との要望を頂き、今後払い下げを行う予定である。

議員 一般に一括で譲渡するのか、または、市で分譲するのか。

地域整備課長 住宅用地として、一括で払い下げを計画している。

議員 この土地は市で分譲して、定住促進につなげていくべきと思う。様々な条件を付けて、たとえば、子育て世代とか市内に勤務している人とか条件を付けて市で安く分譲して定住促進を図るべきと思う。

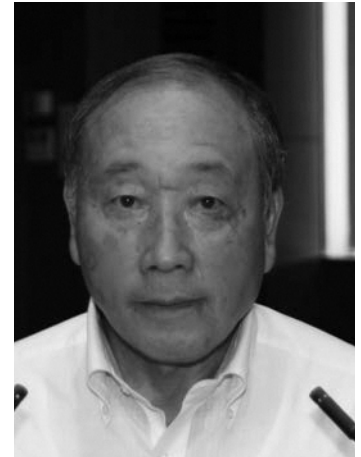
市長 最終的に市で分譲するか、あるいは民間に任せるにしても、どういった計画で分譲を行うのか十分協議をした上で、定住促進にも資するような選択肢を選んでいく。



住宅用に計画されている二葉町地内の用地

【その他の質問】

・観光施設問題について



榎本 丈雄 議員

中山間地農業と兼業農家継続策について

議員 小規模農家でも市・県・国の補助金や交付金を活用し、他産業並みの所得が得られる政策を検討するとともに、関係機関に要望を提出できないか。

市長 市単独とはいかないにせよ、農業を継続していく動機になるよう支援策があれば考え、要望していく。

議員 県内農協の再編計画がある。営農等の強化に結びつくような合併構想が望ましいが、これについての考えを伺う。

市長 再編が地域農業と農家にとって有益で継続的な農業振興に寄与するものであるか否かであるが、市長として動静を注視しつつ、必要があれば行動をとる。



ほ場整備が行われている「須巻地区」

議員 胎内市において耕作放棄地は増えているか。また、これに対する当市と中間管理機構の対応は。

市長 現在の農業が経営として成り立たず、後継者がいないというのが増加原因と考える。耕作放棄地再利用緊急対策交付金の活用で放棄地の解消に努める。

嘉平山の利用促進について

議員 不要な土地を総額4億5千5百万円もの高額な公金で購入した。対策として、山の土を埋め立て盛り土として販売し、その後、土地を売却ではなく貸し付けとし、大型スーパーや国営長岡丘陵公園のようなものができないか。

市長 幅広く積極的にいろいろな提案に耳を傾け、これがよかろうと思うものは躊躇せず皆様に諮り決めていく。

県道の歩道整備と国道290号線拡幅工事について

議員 県道下館地内の歩道改修工事はいつ着工し、完了はいつ頃か。また、以前質問した築地地区の歩道はその後どのようなになっているか。

市長 下館地内の歩道改修工事着工は今年秋ごろを予定している。完了は用地買収や予算配分から来年度中を予定している。築地地区の工事については、現在の橋梁工事完成を一応の目途としているのと同時に、柴橋寄りも現実の手当てでなされるように確認し要望する。

議員 国道290号線の拡幅工事完了予定はいつごろか。

市長 平成32年度ということを確認している。先延ばしにされることのないように要望していく。



拡幅工事中の国道290号線

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



八幡 元弘 議員

小学生、中学生の登下校 及びスクールバスについて

議員 登下校時の見守り隊の現状は。

教育長 地域によって異なるが、地域の方々、保護者が交差点で誘導したり、児童と一緒に歩くボランティアに支えられている。

議員 新潟市西区での女児殺害事件後、どのような対応及び対策を講じているのか。

教育長 見守り活動の強化、不審者情報の共有など地域ぐるみでの不審者対応の徹底を図っている。具体的には、児童生徒に対して、複数で登下校することや決められた通学路を通り、暗くなる前に帰宅すること等を指導している。また、安全マップの活用状況の情報収集等に努め、関係

機関と連携して、共同体制の構築を行い、安全確保が一層徹底されるよう努めていく。

議員 今までに登下校の実態調査を行ったことはあるのか。

教育長 特に実態調査を行ったことはない。しかし、大阪府北部地震のブロック塀の倒壊による小学生の死亡事故を踏まえ、通学路の学校以外のブロック塀の安全性を確認する等の実態調査を行い、対応を協議していきたいと考えている。

議員 保護者に登下校及びスクールバスについて、アンケート調査を実施する考えはあるのか、また、スクールバスの運行基準を見直してみているか。

教育長 現時点ではスクールバスの運行基準の見直しは考えていない。しかし、登下校の実態やスクールバスの運行ニーズを把握することは今後のスクールバスのあり方を考える上で大切であり、実態把握に努めるとともに、アンケートも手法の一つとして検討していきたいと考えている。



スクールバス

Wi-Fi について

議員 ロイヤル胎内パークホテルの客室では、Wi-Fi環境が整っていないが、今後どのように対応する予定か。

市長 ロビー、レストラン、コンベンションホールについては平成28年に整備してあるが、客室については、現在未整備であり、有益性に鑑み、財政状況を踏まえながら、補助金を活用できるのであれば、できるだけ早期に整備したいと考えている。

議員 樽ヶ橋遊園もWi-Fi未整備であるが、今後どのように考えているのか。

市長 現在進めている樽ヶ橋遊園施設改修工事と合わせて、Wi-Fiも同時に整備できれば、ロイヤル胎内パークホテルの客室と同じく、整備を進めることができたら、という認識である。

〈Wi-Fi 整備済みの主な施設〉

施設名	ロイヤル胎内パークホテル (※客室等一部は除く)
	奥胎内ヒュッテ
	胎内スキー場
	観光交流センター
	きのと観光物産館
	総合体育館 (ぷれすぽ胎内)
	胎内市美術館
市内全ての小・中学校	



森本 将司 議員

若者が定住しやすい胎内市に

議員 昨年、胎内市の人口が3万人を割ったが、新発田市では昨年度より新築・中古住宅取得に対して最大180万円の補助をする定住支援事業を始めた。昨年度実績で30件、今年度でおよそ9件の申請があるとのことであった。住宅支援は市税や地域の消費活動を考えればバラマキには当たらない。定住促進に力をいれたことにより、新発田市は2040年の人口予測をこれまでのものより7千人ほど多くなる見通しをしている。

いち早く保育料無償化に取り組んだ聖籠町や今回の新発田市が魅力的な支援を行う中で定住自立圏を組む胎内市が一人負けということ

とにならないよう望むが市長の考えを伺う。

市長 転入者の住宅支援について他の自治体の取り組みは把握している。しかしながら恒久的な財源が無い中では、まず子育て支援や教育で地域の魅力を向上させていくことが重要であると考えている。

市民交流の拠点となる生涯学習施設を

議員 近年の厳しい財政状況もあり、一時に比べ、生涯学習施設建設はトーンダウンしたように感じる。しかしながら自主財源にこだわらずとも、民間と共同で行う※PFI方式

式や新発田市のイクネスのように国のまちなか再生事業補助金のような活用も考えられる。昨年には検討委員会も立ち上げたとのことだが現状について伺う。

※PFI
公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。



現在の市図書館

市長 2月と5月に会議を開いたところであり、年度末までには方向性を示したいと考えている。

議員 建設場所として7月に供用開始となる中条駅舎の近くであれば学生の利用も見込め周辺・エリアの活性化につながると思うがいかがか。

市長 検討の中でも駅周辺という意見が出た。学生の利用を考えればそうであるうが、公民館のような機能を持たせた場合になれば状況は変わるだろうし、芸術・文化施設と考えた場合には緑のある落ち着いた場所が良いという考えもある。それらも踏まえて今後、検討していく。



民間開発の進む中条駅西口

【その他の質問】
・新潟県知事選挙について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



佐藤 陽志 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

安心で安全なまちづくりについて

議員 子どもたちのため、防犯体制の強化を図り、安心で安全なまちづくりに努めるべきと思うが、市長の考えを伺う。

市長 胎内市では子ども見守り隊と防犯組合連合会を中心として防犯活動が実施されている。今後、行政・学校・警察・地域が情報を共有し、連携して取り組む体制を構築するとともに、買い物や散歩をしながら取り組む「ながらパトロール」を推進していきたい。

議員 北公園の安全について伺う。

市長 見通しをよくするため樹木の剪定を施し、防犯カメラやセンサーライトの設置を検討する。また、北公園以外の公園も点検を行う。



子ども見守り隊

議員 登下校時の見守りや安全マップについて伺う。

学校教育課長 小学校には安全マップが作成されている。更新や周知については今後把握し、こういった取り組みが可能か検討する。

子育て支援策について

議員 男性職員の育児休業取得の状況はどうか。また、市からのPRについて伺う。

市長 平成28年に1人取得したがその後はない。今後も地道に働きかけ、活用される職場の風土を作っていきたい。また、企業とも話し合いを進めたい。

議員 子育て応援カードの進捗状況を伺う。

市長 現在34店舗が協賛店として登録してもらっている。今後も引き続き協力依頼を行っていく。

高齢者福祉について

議員 健康寿命の増進について、市の取り組みを伺う。

市長 今年度からは、保健師や理学療法士が訪問しており、通いと訪問の両面から予防対策を実施している。課題として、生活機能が低下している高齢者や、閉じこもり等何らかの支援を必要とする方の早期発見と支援、関係機関との情報共有をより一層深める必要があると認識している。

議員 地域包括ケアシステムについて、進捗状況はどうか伺う。

市長 各種のサポーター養成講座を多くの市民の方が受講していて、サロンの立ち上げに参画するなどの連携が図られている。そういった方々のより一層の連携に取り組んでいる。



地域サポーター養成講座



羽田野孝子 議員

胎内リゾート活性化10年の 総括と今後の課題について

議員 地域経済効果について実態を明らかにすべきと思うがいかがか。

市長 高額でない手法で費用対効果を検証できるようにあればしていきたい。

議員 樽が橋エリアは市や財団など多部署がかかわっているため管理の一元化、情報の共有化が求められるが改善状況について伺う。

市長 月1回7施設の運営者会議を開催し情報の共有を図っている。共通利用券について検討していきたい。

議員 胎内平エリアの基本コンセプトは、「たいない・学びと安らぎの里」で、整備は行き届いているが観光に十分活用されていない。

市長 胎内平エリアの憩いの場とし



胎内平芝生広場

てのPRが足りないかもしれないので情報の発信に努めていく。

議員 中条駅から「のれんす号」を利用できないか。

市長 土・日曜日に「のれんす号」の運行を拡充できるか考えていく。

子育てと両立できる 職場環境について

議員 胎内市民アンケートでは、土・日曜日に預けられる保育園を増やしてほしいとあった。実態は。

市長 土曜日は全保育園で、日曜日は公立園5園のうち3園で、私立園では5園全てで対応。土曜日は公立園4.1%、私立園8.3%。日曜日・祝日は公立園0.3%、私立園0.6%の利用。

議員 普段見てもらっている園で対応すべき。布団を持っていかなければならない。不公平である。

市長 利用者が少ない日曜日は体制整備として困難。ご理解賜りたい。

議員 雇用促進協議会で職場環境について取り上げたことがあるか。

市長 今後は、産休・育休の取得や労働時間と賃金の適正化など、職場環境の改善について取り上げたい。

議員 労働者の帰宅時間が遅くなっている。市の職員も帰りが遅いと家族から聞くが。

市長 メンタルヘルスの面からも市職員の労働実態の把握を強めたい。

中条駅西口の 駐車場について

議員 西口にも留め置きできる駐車場を。

市長 東口市営駐車場は月極め枠を減らして一般利用枠を拡大したい。西口の留め置きできる駐車場は予定していないが、何らかの支障があれば民間駐車場の活用など改善策を講じたい。



中条駅西口

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



渡辺 栄六 議員

女性や子ども、高齢者に 配慮した防災対策について

議員 地域防災会議等で、発災時の避難所運営などにおいて女性の視点に立った意見が反映されているか。

総務課長 現在、女性委員は入っていない。自主防災組織の女性役員や、女性防災士にも今後、地域防災会議に参画していただくようにする。

議員 女性のための防災ハンドブック作成、配布また、女性の視点に立った防災対策のセミナーや講演会を開催する考えは。

市長 防災ガイドブックの改訂の際に、女性や子どもなどの視点に立った内容の充実を図っていく。また、男女共同参画の視点から防災関連研



東京都で配布している防災ハンドブック

修会を実施しており、継続して開催していく。

地域の防犯対策 について

議員 子どもの安全、安心に向けた学校と地域の協力体制の構築は。

教育長 学校、家庭、地域で共有するための安全マップの作成や、定期的なパトロールを実施している。今後も警察署等の関係機関と連携して、児童生徒の登下校の見守り体制の強化を図っていく。

議員 散歩やウォーキングをしながら地域の安全を見守るボランティア活動の呼びかけをしていく考えは。

市長 地域住民の日常生活の中で見守りが行われる仕組みは有益と考える。関係機関と協議し、よりよい防犯体制づくりに努める。

AEDの効果的 活用について

議員 小中学校において、AEDの取り扱い扱いと心肺蘇生教育の現状と今後の方向性は。

教育長 中学校では3年生の保健体育の授業において、AEDの取り扱いや心肺蘇生法に係る講習会を実施しており、今後も継続的に開催して

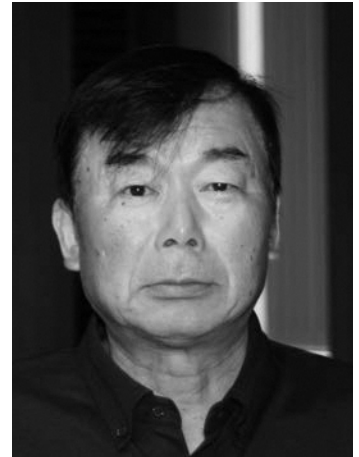
いく。

議員 小中学校施設でのAEDは、夜間や休日等は施錠されているため、緊急時や災害時に使用できない。屋外型のAED収納ボックスを導入し、24時間使えるようにできないか。

教育長 管理面やコスト面での課題があり、当面現状維持の考えであるが、先進事例などを参考にしながら検討していきたい。



AED 屋外型収納ボックス



坂上 清一 議員

高齢者の生活支援について

議員 買物弱者の支援サービスの内容について伺う。

市長 介護保険の認定を受けてる方は、必要に応じてヘルパーに食品や日用品等の生活必需品を買ってきてもらう買物代行サービスや、スーパーなどに付き添ってもらいながら買い物をする買い物同行サービスを利用することができる。

議員 先進地の取り組みの事例などもある食料品等の集落への移動販売等の支援などできないか。

市長 今後移動販売に関する聞き取り調査などを行い、総合的に判断した中で買い物支援を行う必要性が高いという判断に至れば、買い物に関する非常に不都合、不自由を抱えて



先進地で実施されている移動販売

いる高齢者の方が多いことを考えた上で、可能であれば検討を深める。

生活困窮者支援について

議員 生活困窮者への相談窓口はどのような体制か伺う。

市長 平成27年度から生活に困っている方に対する相談窓口業務のほか、就労支援や家庭相談、子供の学習支援業務を胎内市社会福祉協議会に委託し、せいかつ応援センター胎内市社協として、専門の支援相談員3名により生活困窮者に対するさまざまな相談を受け、問題の解決に向けた支援を行っている。

議員 その相談件数及び現状と課題をどう捉えているのか伺う。

市長 平成29年度における相談件数は延べ2千174件で、最も多かったのは生活費や債務など家計に関する相談で1千328件、次に多かったのは就労に関する相談で623件であった。より相談しやすい環境を整備して、広報等で周知していきたい。

議員 生活困窮者をどのように把握し、支援を決定する基準を伺う。

市長 把握の方法は、直接本人からの申し出のほか、地域包括支援センターや民生委員、地域の住民や知人からの紹介により面談や調査を行い、状況を把握している現状。支援の決定は、具体的な基準を設けてないが、専門の相談支援員による聞き取り調査を行った上で、相談者の事情を総合的に勘案して決定している現状である。



せいかつ支援センター胎内市社協

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



丸山 孝博 議員

小中学校にエアコンの設置について

議員 文科省は夏場、教室の望ましい温度は30度以下ではなく、28度以下と全国の小中学校や高校などに温度基準を約半世紀ぶりに見直し、全国に通知した。これを機に、普通教室に対し、計画的にエアコンを設置すべきではないか。

教育長 多額の費用負担が必要となることから、扇風機を設置し、対応している。学校施設の老朽化対策なども勘案し計画したい。

子ども食堂の開設について

議員 子ども食堂は、まだ1カ所だが、市長の子ども食堂に対する役割

についての考え方を伺う。

市長 貧困その他の理由で望ましい食事の内容を確保できない子供たちの健やかな成長を支援するなど大変重要なものであると認識しており、現状を検証し、社会福祉協議会を始めとする関係機関と連携を図り、市として協力できることはしたい。



西本町第三の子ども食堂

学校給食費の助成について

議員 せめて低所得者、多子世帯への助成を行い、経済的に安心して暮らせることができる市政を進めるべきかどうか。

教育長 現在就学援助実施要綱に基づき、経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部の援助を行っているが、その中で学校給食費についても援助費目となっており、実費額を支給している。

議員 多子世帯に対する支援についてはどうか。

学校教育課長 小学校、中学校に在籍する子が3人以上いる世帯については83世帯である。就学援助を算定する際には家族構成等も勘案した中で基準額の上限が変わってくるので、難しい。

介護保険の減免について

議員 介護保険料は高く、その負担はもう限界であるという部分について、過去の議会質問で再三指摘して



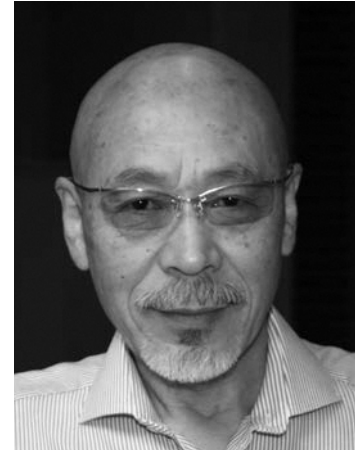
学校給食

きたが、取り急ぎ減免制度で生活を守ることが必要であるが、減免件数は何件あったか。

市長 平成12年に介護保険制度がスタートして以来、延べ10人の方に対して減免をした。

議員 前年度は1件しかない。所得段階の保険料の第1段階から第3段階は、世帯全員が住民税の非課税世帯であって、該当するのではないか、減免をきちんとすべきでないか。

福祉介護課長 実際に減免対象となるのは200人程度の可能性があるが、なお周知を図っていく。



佐藤 武志 議員

中条まつりの質問結果について

議員 3月議会質問において、中条まつりの日程を四日間から、本来の三日間に戻すことを伺った。質問結果について伺う。

市長 中条まつり実行委員会総会において意見を伺い、これまで通りの開催が望ましいとの意見を頂いた。

議員 まつり最終日には、露天商の店も居なくなり、山車を曳く若者だけが残るだけで、寂しい祭りとなっているから、本来、三日間の「まつり」らしさの賑わいが残る日程を組んで頂きたいと云う事であり、考えることが出来ないのか。

市長 市が、一方的に決めることは出来ない。今まで通りと、最終結論とする。



中条まつりと花火

学校関連 について

議員 各小学校児童の登下校時における防犯、安全性、通学路の道路交通規制について伺う。

教育長 児童生徒の安全確保のため、学校と家庭、地域、警察等の連携により地域ぐるみの安全対策を一層充実したものにする。

議員 安全マップを作成しているが、大人の目線での怖さと、児童から見る目線の怖さがある。
もう一度検証し、多くの児童たちが確認できる場所に張り、危険箇所があれば新たにマークを付けるなど、他の児童生徒にも共有できるように出来ないか。

教育長 云われるような案を取り入れ、児童生徒たちと安全マップを作成する。

議員 今後、中条小中学校の大規模改修計画があるのか。

また、中条中学校に隣接した武道館が取り壊され、保健体育授業に支障が生じるなど、また、部活動が郊外の施設を利用することになり移動時の安全性について伺う。

教育長 一番古い建物で、小学校は



旧武道場での武道授業の様子

57年、中学校では46年経過している。教育委員会では、学校施設などの長寿命化にむけた対策、予防安全化、建て替え等の対策内容を方向づけ安心安全に学べる教育環境を第一に考えていく。
郊外部活動での安全確保等の解決しなければならぬ課題はある。
保健体育事業では、柔道ではなく剣道を視野に入れて対応していく必要がある。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

平成30年第2回定例会議決結果

第2回定例会は、6月12日から6月29日までの18日間にわたって開催されました。市長提出議案については、専決処分の承認3件、補正予算4件、条例の一部改正9件、人事案件2件、その他1件が審議されました。また、議員提出議案では、条例の一部改正1件、意見書1件が審議され、次のとおり議決されました。

可決（承認・適任・同意）された議案	
平成30年度補正予算 ・一般会計補正予算（第1号）【専決】 ・一般会計補正予算（第2号） ・一般会計補正予算（第3号） ・介護保険事業特別会計補正予算（第1号） ・簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	条例の一部改正 ・税条例等の一部を改正する条例【専決】 ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例【専決】 ・社会体育施設条例の一部を改正する条例 ・ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 ・重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 ・介護保険条例の一部を改正する条例 ・都市公園条例の一部を改正する条例 ・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の一部を改正する条例 ・税条例の一部を改正する条例
人事案件 ・人権擁護委員候補者の推薦について 市村 美由紀 氏（東本町） ・教育委員会教育長の任命について 中澤 毅 氏（若松町）	
その他 ・字の変更について	
議員発議 ・胎内市議会委員会条例及び胎内市議会基本条例の一部を改正する条例【提案者：薄田智 議員】 内容：次の一般選挙から議員定数が18人から16人に削減されることに伴い、現在ある4つの常任委員会を3常任委員会に再編し、定数をそれぞれ「10」として、議長を除く全議員が2つの常任委員会に所属するもの。 ・適正規模の少人数学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書【提案者：坂上清一 議員】 内容：子どもたちの教育の機会均等が担保され、教育水準が維持・向上するよう少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書を国の関係機関に提出するもの。	

常任委員会審査

総務文教

胎内市社会体育施設条例の一部を改正する条例

総合グラウンド交流棟を、課題を抱える子どももの総合的な支援のために整備する「家でも学校でもない第三の居場所」として活用したく、社会体育施設としての供用を廃止することについて諮るものである。整備を予定している「第三の居場所」についてはB&G財団が全国的に整備を進めているものであり、胎内市においてもB&G財団から助成を受け設置したい。助成額については開設費の4千万円、運営費は3年間で総額5千万円が上限であり、助成率は10%である。

質問 4月からどういう体制で管理運営していくのか。

答弁 正副マネージャー1名ずつ、スタッフ1名を助成金を受けて配置したいと考えている。拠点マネージャーを中心に意図的計画的に子どもたちに向けた指導を行い、それによりどういった改善がされたかというところの記録もとって行きたい。3年間の事業の中でそういったノウハウを蓄積できればと考えている。

その他付託された1件についても可決すべきと決定した。



総合グランド交流棟

厚生環境

胎内市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

これは県のひとり親家庭等医療費助成事業実施要綱の一部が改正されたこと及び所得税法等の一部を改正する等の法律における「控除対象配偶者」の規定の見直しにより、当該条例で規定する文言が改定されたことにより改正を行うもの。

質問 控除対象配偶者と同一生計配偶者の違いは何か。

答弁 今回の税制改正で配偶者控除をうけられる者は、合計所得金額1

千万円以下の者に限定される。また、合計所得金額が90万円を超えるものの配偶者控除額は引き下げられる。一方、配偶者特別控除の対象となる配偶者の合計所得金額は123万円に引き上げられ、従前の控除対象配偶者という文言が同一生計配偶者という言葉に置き換わる。

胎内市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

これは、国が定める放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する一部を改正する省令の改正に伴い、放課後児童支援員の基礎資格について、拡大及び規定の趣旨を明確にしたことにより所要の改正を行うもの。

質問 現在、支援員とそれ以外で事業に携わる人数は。

答弁 常勤支援員が13名、代替え要員が15名である。

質問 5年以上従事したもので市長が適当と認めれば支援員となれるとのことだが、施行された時点までの期間はカウントされるのか。

答弁 そのような計算で、通算5年経過で支援員となる。

付託された他5件についても可決すべきと決定した。

まちづくり

平成30年度胎内市簡易水道事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に259万2千円を追加し、総額を2億99万2千円とするもの。歳出としては下館市内の消火栓設置工事に係る工事請負費を増額するものである。歳入は諸収入を増額するもの。

質問 大阪の震災において水道管の破損した例が多く見られたが、簡易水道のメンテナンスはどのような計画をしているのか。

答弁 配水管の耐用年数は40年となっている。今後は耐用年数を見ながら更新計画を立てて順次入れ替えを行っていききたいが、財源が伴わないと更新できないので、財源確保の上で計画し進めていきたい。

胎内市都市公園条例の一部を改正する条例

現在、胎内市はぶれずば胎内の他、15の体育施設を指定管理者制度で管理しているが、今年度で契約が終了となる。そこで来年度の契約からは、社会体育施設に限らず、都市公園条例内の国際交流公園と鴻ノ巣テニスコートも管理施設に加え一元化管理出来るように都市公園条例を改正するもの。

質問 現状の管理状況は。

答弁 29年度の利用状況として、国際交流公園テニスコートで1万724人、鴻ノ巣公園テニスコートは2千33人である。経費は人件費のみで90万円である。

質問 使用料が指定管理者の収入になるというが、いくらの見込みか。

答弁 30年度見込みで国際交流公園が24万5千円、鴻ノ巣公園が14万5千円である。



国際交流公園テニスコート

行政視察報告

産業観光常任委員会

◎5月21日～23日

◎宮城県登米市・青森県八戸市

【地域ブランド化・6次産業化】

登米市は人口約8万人、水稲作付面積10、325ha、食用牛飼養頭数25、402頭で、農業産出額は約315億円であり、県内1位となっている。耕畜連携の先進地でもあり、環境循環型農業を全地域に展開し全体の約80%が環境保全米作付である。環境保全型農業の取組や品質・出荷に係る厳しい認定基準を定め登米ブランド米として全国に提供している。

【八戸ポータルミュージアム】

賑わいの創出や観光と地域文化の振興を図ることを目的に平成23年に八戸市中心街に地上5階建てで整備され、年間100万人が訪れている。館内のギャラリーや多目的スペースにおいて、市民が行う展示や公演等が地元の人々と触れ合えるほか、八戸の歴史、文化、見どころ魅力などが分かりやすく展示され、市内各地へ



八戸ポータルミュージアム

誘導する玄関口としての機能を有しているのが特徴である。

中条橋上駅舎も市の魅力を発信し、各地へ誘導する役割を兼ね備えた場所になって欲しいと願うところである。

(文責 小野徳重)

まちづくり常任委員会

◎4月16日～18日

◎長野県中野市・山梨県笛吹市・埼玉県秩父市

【公共施設等総合管理計画の取り組みについて】

目標は、37年度までの10年間で延床面積20%縮減とし、対象範囲を学校教育系、市民文化系など11に分類して、個々の方向性を示している。胎内市は、30年間で25%縮減目標にしているが、市民協働による対応が何よりも求められ、今後の方向性の明確化が必要である。

【地域おこし協力隊の活動について】

28年度に、移住定住担当1名、農業振興担当1名の計2名が着任し、3年目を迎えている。それぞれの役割を担っており将来永住が前提になって活動しているのが特徴で、そのため、新たな協力隊の募集が難しい状況とのこと。地域との関りや交流、取り組みの成果、将来展望などについて説明を受けた。胎内市の協力隊との交流も期待したい。

【セーフコミュニティの取り組みについて】

人口減少と超高齢化、財政規模の



地域おこし協力隊と懇談

縮小、コミュニティの希薄化、社会環境の変化などに対応する有効な活動であるとのこと。結果的に自殺者、犯罪、交通事故などの減少につながっている。安全・安心なまちづくりとしては有効であり、胎内市でも取り入れるべき施策ではないかと考える。

(文責 丸山孝博)

関会中所管事務 調査報告

総務文教常任委員会

◎ 5月28日

◎ 新潟県少年自然の家・中条中学校
【新潟県少年自然の家】

この施設は、新潟県が昭和48年に建設して45年が経過した。これまで年間約3万人の児童・生徒が利用し、累計で1千500万人の利用がある。人気の活動として、カヌー体験、野外炊飯、オリエンテーリングなどがある。

昨年度から総事業費約30億円の計画で新施設建設に着手、平成31年4月に供用開始予定である。新施設の利用計画として、年間5万1千人であり大幅増加を見込んでいる。

【胎内市立中条中学校】

中条中学校市営体育館・武道場取り壊しに伴う授業・部活動の影響について調査を行った。

昨年11月に武道場の取り壊しが行われ、現在、武道授業はぶれすぽ胎内で陸上競技部、バスケットボール部とともに行われている。また、ソ



平成31年4月供用開始に向け建設中の新施設

フトテニス部は、以前から国際交流公園で行われている。ともに離れた場所への移動には自転車、保護者の車の乗り合わせ、バス等であり、道路状況の不安や問題点がある。また、校外での活動のため教職員の時間的な負担が増え、県が指導している午後7時退勤は困難な状況にあり、今回の調査で多くの問題が浮き彫りになった。

(文責 桐生清太郎)

厚生環境常任委員会

◎ 4月24日

◎ まごころ保育園たいない・こぼと作業所

【まごころ保育園たいない】

まごころ保育園たいないは、本年4月、市内加賀新地内に設立開園し、定員は84名であるが、本年度の入園数は0歳児が9名、1歳児が14名、2歳児が13名の計36名である。当保育園は、子どもにやさしい木のぬくもりにあふれた園舎として整備され、セキュリティも強化された施設である。今後は、年少、年中、年長児が増加し定員に満たされ、地域に愛される保育園になることが期待される。

【こぼと作業所】

こぼと作業所は就労継続支援B型であり、東本町の旧施設から柴橋地内に本年4月より新施設竣工し、定員も30名から40名に増員された。作業内容は、古着を回収したウエス加工・手芸品作り・家電リサイクル等である。利用者が毎日黙々と作業に取り組んでいることと、地元企業から仕事を自主努力で確保していることに改めて感心させられる。



柴橋地内のこぼと作業所

当委員会としてもこれから、さまざまな角度から支援を考えていかなければならないとともに、障がい福祉事業の課題についての声もしっかり聞いていきたい。

(文責 渡辺栄六)

会派視察報告

志政会とみどりの未来・日本共産党

◎7月2日～4日

◎岩手県大船渡市

【市議会災害対応指針について】

大船渡市議会では、東日本大震災後、市議会災害対応指針・市議会災害対策会議設置要綱・市議会災害時行動マニュアルが作成され、年に1回防災訓練を行っている。防災訓練では災害対策会議を設置し、議員の安否報告、各町からの現状報告・要望報告のほか、救命講習や無線操作訓練を行っている。当市においても



屋上付近まで水没した大槌町役場

震災時の議員の役割を想定し、マニュアル等の作成及び訓練が必要であると感じた。

被災した岩手県大槌町役場、ほかに岩手県釜石市の仮設住宅の現状及び岩手県陸前高田市の復興状況並びに宮城県仙台市内の被災状況を視察した。

(文責 桐生清太郎)

緑風会

◎7月3日～5日

◎秋田県にかほ市・山形県大石田町・岩手県一関市

【地域活性化の取組について】

にかほ市の道の駅象潟と隣接の観光拠点センター「にかほっと」では、周辺の由利本荘市、遊佐町、酒田市と連携し地域活性化に取組んでいた。近隣自治体との連携の重要性を感じた。

【コミュニティスクールについて】

大石田町では、学校・家庭・地域が共に「質の高い教育」を目指し、「自分の力で食べていける人を育てる」ことを目標にしていた。人は褒められると行動し、育つ。褒めることの大切さに改めて気づかされた。

【移住定住について】

一関市で印象に残ったのは、「いちのせきファンクラブ事業」である。とにかく一度、訪れてもらうことに主眼を置いた企画であり、きつ

かけづくりに特化していた。本市でも参考になる内容であった。

(文責 渡辺宏行)



大石田町において

政和会・公明党・胎政会

◎7月4日～6日

◎山形県最上町・岩手県紫波町・福島県白河市

【自治協働のまちづくり】

最上町では平成20年6月より町長を本部長とした「自治協働のまちづくり総合推進本部」を設置している。町職員を地域づくり協働隊として集落ごとに配置するとともに、3つある地区に集落支援員を1名ずつ委嘱し、連携することによって細やかな集落支援を実現していた。

【オガールプロジェクト】

紫波町は駅前開発に伴い、それまで町に存在しなかった図書館、文化会館、生涯学習センター、直売所が一体となった複合施設を民間の商業施設とともに官民連携で建設した。その後、宿泊施設や役場庁舎、保育園などをエリア内に次々と建設し、近隣では新興住宅が立ち並んでいた。自主財源に頼らない公共施設運営は、財政難の当市に必要なことであり大いに参考になった。

【白河市立図書館】

白河市は図書館の建て替えに際して駅前に移転をした結果、電車待ちの学生などそれまでとは違う層の利用者が増えたとのことであった。6万の人口に対し、年間の入館者数は30万人を超え、市民の交流拠点となっているとのことであった。

(文責 渡辺 俊)



紫波町において

平成29年度 政務活動費収支結果報告

平成29年4月1日～30年3月31日

平成29年度会派別政務活動費収支結果

(単位：円)

科 目	政務活動費の内訳	政和会	緑風会	志政会とみどりの未来	日本共産党	公明党	胎政会	
収 入	1,260,000	360,000	288,000	324,000	108,000	72,000	72,000	36,000
補助金内支出	1,260,000	360,000	288,000	324,000	108,000	72,000	72,000	36,000
返 還 金	36,000	0	0	0	0	0	0	36,000
支 出	1,493,571	473,003	297,088	386,640	154,660	85,490	96,690	0
調査研究費	1,493,571	473,003	297,088	386,640	154,660	85,490	96,690	0
研 修 費	0	0	0	0	0	0	0	0
広 報 費	0	0	0	0	0	0	0	0
広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0
事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0
会 員 名	会 長	渡 辺 俊	渡 辺 宏 行	桐 生 清 太 郎	丸 山 孝 博	渡 辺 栄 六	佐 藤 武 志	榎 本 丈 雄
	幹 事 長	天 木 義 人	薄 田 智	高 橋 政 実				(H29.4月～H29.9月)
	副 会 長			佐 藤 陽 志				
	会 計	小 野 徳 重	八 幡 元 弘	渡 辺 秀 敏				
	会 員	森 田 幸 衛	坂 上 清 一	榎 本 丈 雄	羽 田 野 孝 子			
会 員	森 本 将 司			(H29.10月～H30.3月)	(H29.10月～H30.3月)			

平成29年度議員別政務活動費収支結果

(単位：円)

科 目	高橋 政実 (志政会とみどりの未来)	羽田野孝子 (日本共産党)	森本 将司 (政和会)	八幡 元弘 (緑風会)	佐藤 陽志 (志政会とみどりの未来)	渡辺 秀敏 (志政会とみどりの未来)	坂上 清一 (緑風会)	小野 徳重 (政和会)	渡辺 栄六 (公明党)
収 入	48,000	24,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
補助金内支出	48,000	24,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
返 還 金	0	7,253	0	0	0	0	25,267	12,759	0
支 出	48,610	16,747	53,450	49,860	83,692	48,082	22,733	35,241	50,661
調査研究費	0	0	0	0	11,000	0	0	0	0
研 修 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広 報 費	0	0	0	0	64,173	18,360	0	0	7,344
広 聴 費	0	0	0	0	3,659	0	0	0	0
資料作成費	26,584	16,747	53,450	0	4,860	29,722	22,733	35,241	42,595
資料購入費	22,026	0	0	49,860	0	0	0	0	722
人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	天木 義人 (政和会)	佐藤 武志 (胎政会)	榎本 丈雄 (志政会とみどりの未来)	薄田 智 (緑風会)	渡辺 俊 (政和会)	桐生 清太郎 (志政会とみどりの未来)	渡辺 宏行 (緑風会)	丸山 孝博 (日本共産党)	森田 幸衛 (政和会)
収 入	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
補助金内支出	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
返 還 金	0	16,650	115	0	0	4,752	0	0	0
支 出	54,910	31,350	47,885	67,611	53,402	43,248	58,968	49,788	62,100
調査研究費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研 修 費	0	0	0	0	0	10,800	0	0	0
広 報 費	0	0	0	0	53,402	0	0	0	62,100
広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	15,944	31,350	46,663	67,611	0	8,532	58,968	12,672	0
資料購入費	38,966	0	1,222	0	0	23,916	0	37,116	0
人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0



中条小学校 6年生

鈴木 愛理さん

の作品です。



パソコンの字ばかりが目につく現代だからって、私は人が書くあたたかみのある字を大切に想い、これからも習字を頑張つて、将来に役立てていきたいです。

表紙の写真

「胎内市の未来を担う子どもたち」

私の将来の夢は……

- 山田 葵生さん(中3) 自分に合う職業に就く
- しおり 栞里さん(中1) パン屋さん
- あゆみ 歩実さん(小1) アイス屋さん

議会報モニターアンケート結果(主なもの)

No. 55(平成30年5月1日発行)を見て

- ◎平成30年度予算審査特別委員会について(P2~P5)
 - ・グラフ・表等はいへん見やすい。主な質疑について、数字(助成額等)で明示されて良い。
- ◎会派代表質問・一般質問について(P6~P15)
 - ・前号、前々号に比べ、余白が少ない印象だが、多くの質問と答弁が有るためであり、やむを得ないと思う。「シーリング」のような馴染みのない言葉に注釈が追記され、読み手への配慮が感じられる。8ページに「基金残高の推移」が記載されているが、グラフ化により当市の財政状況の厳しさが良く分かった。
- ◎平成30年定例会議決結果・討論について(P16~P18)
 - ・討論の反対意見は、毎回決まった市議さんです。今回は他の市議さんも反対意見をお持ちですので、その方の意見も載せるのも良いかと思いました。
- ◎閉会中所管事務調査報告について(P19)
 - ・「産業観光常任委員会」観光施設の状況、推移をグラフで表現した方が、より理解してもらえるとと思いました。
- ◎常任委員会審査について(P20・P21)
 - ・内容の説明文、質問、答弁となっている読みやすく分かりやすい。全ページで写真に説明の有り無しが存在している。
- ◎表紙・裏表紙(傍聴記、編集後記等)について(P22)
 - ・力強い題字を書かれることに毎号、感心させられます。写真のお子様たちの夢が叶うことをお祈りします。
- ◎その他、市議会に関するご意見、ご提言など
 - ・市民との意見交換会や女性委員との意見交換会など、市議さんのところへ集まる会はあるが、市民の集まる茶の間のなどに市議さんがフラリとおじゃまするようなことがあると、市民の生の声が聞けるのではないかなと思います。

編集後記

編集委員となつてから、2年が経ち任期満了となります。途中、大きな紙面の刷新など印象に残ることの多い委員会でありました。現在の委員会での議会だより作成は今号をもって最後となりますが、今後も市民の皆様へ解りやすい紙面づくりに引き継いで参りますので、引き続きよろしくお願ひします。

(森本 将司 記)